

# の 広報 さざ

第202号

平成4年

予算特集号



## モダンな町営住宅 “末永団地”

（<sup>さざなみ</sup>佐々南町内会）

今年度12戸が建設され、全戸（72戸）が完成。

『生きがいと情熱あふれるまち』  
『21世紀に向け創造するまち』  
『だれもが安心して生活できるまち』

平成4年度予算成立



会計別予算

一般会計	4,502,500千円
国民健康保険	706,592千円
特 診療所	156,011千円
老人保健	801,885千円
工場団地造成事業	66,920千円
水道事業	218,316千円
公共下水道事業	186,440千円
佐々町土地取得	31,270千円
総 額	6,669,934千円

予算総額 66億6,990万円



町長の施政方針

我が国を取り巻く社会経済情勢は、不安定な国際関係、景気の減速及び急速に進展する人口の高齢化を背景に、二十一世紀への過渡期にあつて、厳しい試験の場に立たされております。こうした中で、国においては公債依存体質からの脱却を維持するため、行政改革をさらに推進するな

また、近年県下各市町村は、既に様々な形で独自の地域作りを取り組んでおり、財源措置も拡充されており、何と云ってもふるさととは、地域住民の皆さんのものであり、住民の方々の幅広い参加と合意が大前提であります。そこで県と各市町村は、ふるさとづくりについて、住民の皆様方に充分理解してもらい、また参加してもらえ、ひとつの目標を明確に打ち出し、その目標に向かって互いに協力し、整合性のある施策を展開して行こうという合意に達し、その目標として『美しいふるさとづくり』『楽しいふるさとづくり』『たくましく暮らす』の三つを掲げて、住民の方々の御理解のもとに、自発的、主体的に参加していただき、自らの

町税収入は七億円余り

平成四年度予算案を審議する三月定例議会が九日から二十五日まで開かれ、総額四十五億二千五百十萬円の一般会計予算などを審議しました。

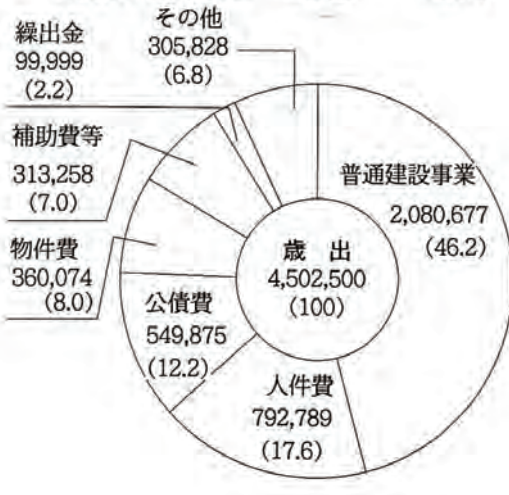
総額四十五億二千五百十萬円の歳入のうち、町税七億一千百七十四万三千円(十五・八%)、地方交付税十六億三千九百萬元(三十六・四%)、町債八億七千二百萬元(十七・九%)、

ふるさとに対する、限らない愛着と誇りをもっていただくよう努めるとともに、県と市町村の行政も互いに連携と協調を図り、効率のよい施策を積極的に展開することにより、ふるさとへの明るい展望を切り開き、輝かしい二十一世紀を目指すことといたします。したがって、本町の町づくりの目標を次のように設定し、この目標に一步でも近づき、この目標に、全力を傾けてまいります。

表1 性質別歳出状況

単位千円( )内は%

その他の内訳		
扶助費	107,053	貸付金 1,620
維持補修費	43,856	失業対策事業 39,414
積立金	53,185	災害復旧事業 20,000
投資及び出資金	611	その他 40,089



『生きがいと情熱あふれるまち』人々が労働、学習、文化、スポーツ等日常生活に生きがいを持ち、よりよい生活、よりよい社会をつくる情熱あふれるまち。

『二十一世紀に向け創造するまち』人々が農村から都会への環境の変化、情報化、高齢化、国際化等の社会変化に対し、広い視野と交流等により、創造的に対応するまち、

『だれもが安心して生活できるまち』人々がお互いを尊重しあい、子供から老人までが安心して生活でき、災害等に対しても十分安全で、誰もが安心して生活できるまち

以上の実現に向かって全力をあげるため、極めて厳しい財政状況にあります。行政の簡素化、合理化に努め、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に徹し、積極的な予算編成を行いました。

今後共町民皆様のご支援とご指導ご協力をお願い申し上げます。



# 住民総参加のふるさとづくり

一般会計

# 45億250万円

## 一般会計歳入歳出予算

歳入

歳出

(単位：千円)

款	項	金額
1. 町 税		711,743
	1. 町 民 税	326,659
	2. 固 定 資 産 税	312,216
	3. 軽 自 動 車 税	14,482
	4. 市 町 村 た ば こ 税	57,615
	5. 特 別 土 地 保 有 税	771
2. 地 方 譲 与 税		77,000
	1. 消 費 譲 与 税	30,000
	2. 自 動 車 重 量 譲 与 税	29,000
	3. 地 方 道 路 譲 与 税	18,000
3. 利 子 割 交 付 金		25,000
	1. 利 子 割 交 付 金	25,000
4. 自 動 車 取 得 税 交 付 金		28,000
	1. 自 動 車 取 得 税 交 付 金	28,000
5. 地 方 交 付 税		1,639,000
	1. 地 方 交 付 税	1,639,000
6. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		1,500
	1. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,500
7. 分 担 金 及 び 負 担 金		49,880
	1. 負 担 金	49,880
8. 使 用 料 及 び 手 数 料		75,389
	1. 使 用 料	69,959
	2. 手 数 料	5,430
9. 国 庫 支 出 金		566,968
	1. 国 庫 負 担 金	87,289
	2. 国 庫 補 助 金	471,638
	3. 委 託 金	8,041
10. 県 支 出 金		265,924
	1. 県 負 担 金	40,425
	2. 県 補 助 金	209,843
	3. 委 託 金	15,656
11. 財 産 収 入		62,845
	1. 財 産 運 用 収 入	54,859
	2. 財 産 売 払 収 入	7,986
12. 寄 附 金		1
	1. 寄 附 金	1
13. 繰 入 金		155,250
	1. 基 金 繰 入 金	154,723
	2. 特 別 会 計 繰 入 金	527
14. 繰 越 金		1
	1. 繰 越 金	1
15. 諸 収 入		36,799
	1. 延 滞 金 加 算 金 及 び 過 料	200
	2. 預 金 利 子	15,000
	3. 貸 付 金 元 利 収 入	475
	4. 雑 入	16,124
	5. 産 炭 地 域 振 興 臨 時 交 付 金	5,000
16. 町 債		807,200
	1. 町 債	807,200
歳 入	合 計	4,502,500

款	項	金額
1. 議 会 費		92,413
	1. 議 会 費	92,413
2. 総 務 費		433,676
	1. 総 務 管 理 費	320,287
	2. 徴 税 費	83,342
	3. 戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費	21,592
	4. 選 挙 費	6,670
	5. 統 計 調 査 費	405
	6. 監 査 委 員 費	1,380
3. 民 生 費		373,768
	1. 社 会 福 祉 費	154,109
	2. 児 童 福 祉 費	219,654
	3. 災 害 救 助 費	5
4. 衛 生 費		240,515
	1. 保 健 衛 生 費	114,519
	2. 清 掃 費	103,851
	3. 上 水 道 費	727
	4. 診 療 所 費	20,000
	5. 保 健 衛 生 諸 費	1,418
5. 労 働 費		43,044
	1. 失 業 対 策 費	114
	2. 産 炭 地 域 開 発 就 労 事 業 費	39,300
	3. 労 働 諸 費	3,630
6. 農 林 水 産 業 費		423,103
	1. 農 業 費	419,345
	2. 林 業 費	3,353
	3. 水 産 業 費	405
7. 商 工 費		556,060
	1. 商 工 費	556,060
8. 土 木 費		1,197,468
	1. 土 木 管 理 費	51,563
	2. 道 路 橋 梁 費	265,898
	3. 河 川 費	13,211
	4. 港 湾 費	50
	5. 都 市 計 画 費	645,088
	6. 住 宅 費	221,658
9. 消 防 費		122,270
	1. 消 防 費	122,270
10. 教 育 費		410,217
	1. 教 育 総 務 費	46,428
	2. 小 学 校 費	79,494
	3. 中 学 校 費	174,182
	4. 幼 稚 園 費	29,678
	5. 社 会 教 育 費	67,750
	6. 保 健 体 育 費	12,685
11. 災 害 復 旧 費		20,000
	1. 農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	20,000
12. 公 債 費		549,875
	1. 公 債 費	549,875
13. 諸 支 出 金		2
	1. 普 通 財 産 取 得 費	2
14. 予 備 費		40,089
	1. 予 備 費	40,089
歳 出	合 計	4,502,500



# 表2 平成4年度一般会計歳入歳出内訳

単位：千円（ ）内は%

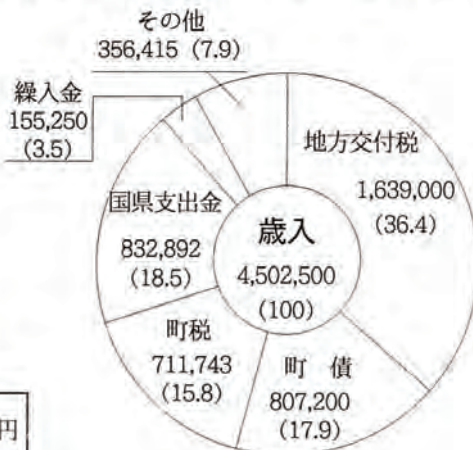
## 町税の内訳

(単位：千円)

区分	金額
町民税	326,659
固定資産税	312,216
軽自動車税	14,482
市町村たばこ税	57,615
特別土地保有税	771
合計	711,743

### その他の内訳

地方譲与税 77,000	交通安全対策特別交付金 1,500
使用料及び手数料 75,389	寄附金 1
分担金及び負担金 49,880	繰越金 1
自動車取得税交付金 28,000	諸収入 36,799
利子割交付金 25,000	財産収入 62,845



## 町民一人(一世帯)当りの予算額

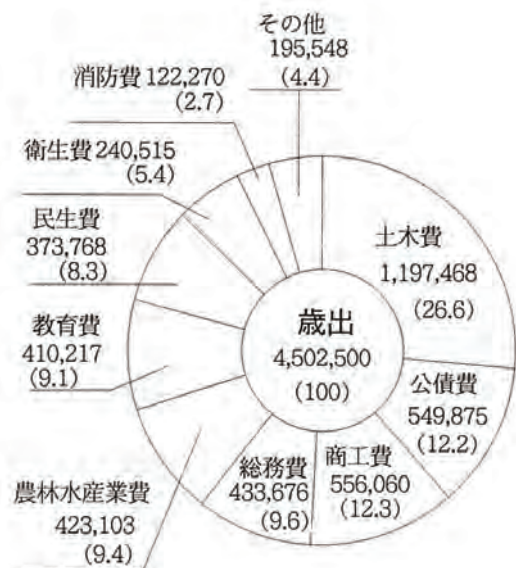
(平成4年3月末 人口12,392人 世帯数3,867)

負担する町税	1人当り	57,435円	使われるお金	1人当り	363,339円
	1世帯当り	184,055円		1世帯当り	1,164,339円

(単位千円( )内は%)

### その他の内訳

議会費 92,413	諸支出金 2
労働費 43,044	予備費 40,089
災害復旧費 20,000	



事業名	事業名
・水田農業確立条件整備事業	・カーブミラー取付取替工事
・中山間地域農村活性化総合整備事業	・羽須和第1公園公衆便所新設工事
・技能訓練校建物補修工事	・農業振興事業補助金
・交通安全施設等整備事業	・土地改良施設維持管理適正化事業
・正興寺橋線橋梁整備事業	・農業土地基盤整備事業補助金
・土地区画整理事業調査費	・水田農業確立排水対策特別事業
・小浦都市下水道整備事業	・学童農園門扉工事
・公営住宅建設事業	・農免農道流合線地元負担金
・消防施設等整備事業	・商店街環境活性化事業補助金
・中学校給食調理室改築事業	・佐々西部自然公園整備事業
・産炭地域開発就労事業	・道路台帳補正整備委託料
・災害復旧事業	・町道改良舗装工事
	・佐々川桜のつつみ整備工事
	・都市下水道ポンプ場設計委託料
	・公共下水道特別会計繰出金
	・公営住宅補修工事
	・末永地区歩道橋新設工事
	・消防施設等整備事業
	・佐々小体育館屋根塗装工事
	・口石小プール床塗装工事
	・中学校理科室床補修工事
	・中学校大規模改築事業
	・中学校給食調理室改築工事
	・南部地区体育館ボックス改修工事



# お金の使われ方

## 心のふれあう 町づくり

— 総務 —

人件費、その他経常経費のほか、職員の知識向上のため前年度に引き続き中央研修費十名分を計上しております。

また、暴力団対策新法の制定に伴い、本県におきましても「財団法人長崎県暴力団追放県民会議」(暴力団追放運動推進センター)設立のための負担金を新たに計上しております。

・長崎県暴力団追放県民会議負担金	1,206千円
・町内会会長事務交付金	12,765千円
・交通安全対策費	2,749千円
・広報防災費	8,180千円
・国土利用計画策定	1,000千円
・電子計算費	1,469千円
・人材育成イベント産業育成事業	4,736千円
・財政町政基金積立	7,500千円
・祭り費	3,785千円
・佐々西部自然公園	520,000千円
・西部自然公園管理	3,872千円
・商店街環境活性化事業	4,460千円

ます。

企画費につきましては、平成三年度に作成した基本構想計画に基づき、実施計画を策定します。また、「基本構想・計画」及び「実施計画」の経費を計上しております。

電源地域振行センターの研究制度を活用し、計画的に職員研修を行います。

基本構想・計画及び農業振興地域計画並びに都市計画などを基に国土利用計画を策定します。

新干拓地及び佐々町工場団地への企業誘致について、前年度に引き続き積極的な誘致活動を展開するため、企業立地の動向調査や信用調査等を行う事務的経費を計上しております。

ふるさと創生については、一億円の果実(運用益)で人材育成、イベント、産業育成の各事業をおこないます。

電子計算費については、現在広域電算で稼働している、いわゆる「住民基本台帳ライン」を単独稼働に移行して、業務の拡張・充実と住民サービスの向上を図ります。また併せて「財務会計業務」などの

内部事務を電算化することにより、事務の合理化、効率化を図ります。

今年度は、電算単独導入の初年度であるため電算研究会を設け、職員の意識高揚と知識培養を図ります。

商工業振興については、平成三年度において商店街の町並み景観を兼ねて、中央地区南部地区の街路灯の整備を行ったところですが、本年度は北部地区の街路灯整備に補助を行います。

西部自然公園整備事業は、三ヶ年計画で取り組んでいます。が本年度も引き続き進めてまいります。また、平成三年度に完成しました窯体験施設及びイベントステージの管理運営費を計上しております。

地籍管理については、土地行政の基礎となる地籍情報を迅速かつ正確に管理するためパソコンを導入し、住民サービスに 대응するため国土調査係を税務課に移管し、地籍管理係と名称を変更して、予算を計上いたしました。

管理事業については、国土調査成果の活用を図るため、二ヶ年計画で管理事業を実施します。

## ふれあいのある福祉

— 福祉 —

超高齢化社会に向けて、ますます増大、多様化する住民のニーズに対し、きめ細かく応えていくため、住民福祉、地域福祉を柱に民生委員、社会福祉協議会等各種団体と連携

を図りながら、誰もが健康で生きがいをもって暮らすことができる福祉の町づくりのため努力します。



ありがとう、また来るよ！  
=楽しいデイ・サービス=

一般社会福祉の諸経費を前年度同様に計上し、身体障害者の日常生活用具の給付事業の充実を図り、障害者本人及びその家族の経済的、精神的負担の軽減を図ることにより、福祉の向上に努めます。

老人福祉費については、国が示している「高齢者保健福祉推進十ヶ年戦略」を基本とし、ねたきり老人ゼロ作戦を重要な柱として、デイ・サービス事業、ショートステイ事業、ホームヘルパー派遣事業の充実を図ります。また、高齢者の生きがいを対策としては、平成二年度から三年度に県の指定を受けて実施しました「高齢者の生きがいと健康づくりモデル事業」の経験を

・町社会福祉協議会運営費補助金	11,328千円	・民間保育園委託料	33,545千円
・民生委員活動費補助金	1,610千円	・二次救急医療費運営負担金	1,067千円
・福祉医療費	10,600千円	・ガン検診等委託料	7,035千円
・国民健康保険特別会計繰出金	39,600千円	・老人保健特別会計	40,398千円
・国民年金電算処理委託料	1,240千円	・塵芥処理組合へ	54,236千円
・敬老年金	8,700千円	・し尿処理組合へ	42,014千円
・老人センター運営委託料	6,800千円	・診療所特別会計繰出金	20,000千円
・ディ・サービス事業委託料	12,300千円	・健康づくり推進費	1,418千円
・老人クラブ助成	1,383千円		
・在宅寝たきり老人介護手当	3,000千円		



生かし、高齢者のスポーツ活動生きがいと創造の家を活用した生産創造活動の充実に努めます。

### 快適な環境づくり

#### ー環境衛生ー

明るく健康で希望に満ちた町づくりのため、快適な環境づくりと健康づくりを基本に実践してまいります。特に次の事業に重点をおきます。

一、成人病(習慣病)の一つである、糖尿病の予防及び治療のための食事療法や生活指導の強化に努めます。

二、健康づくり対策を総合的に推進するため、運動面の知識や実践を地域住民に普及していくように努めます。

三、快適な環境、やすらぎのあるきれいな町づくりの環境として、本年度は羽須和第一公園内の公衆便所を建替します。

四、ごみの減量と資源化のため、昨年に引き続き、各団体のリサイクル活動に対し助成します。

五、火葬場の廃止に伴い、火葬料について全額補助をします。

六、高齢者の保健福祉十ヶ年戦略を具体的に実行するた

め、特に医療機関との連携を強めます。

七、環境衛生については、住民の協力によるところが大きく、生活排水、ごみの適正処理、空きカン投げ捨て防止・大清掃など啓発活動に重点をおきます。

#### 自立できる

#### 農業をめざして

#### ー農林水産業ー

今日の農業をとりまく情勢は極めて厳しい状況下であり、国際的には円高による農産物の輸入増加、市場開放要求等

国内的には、農産物の過剰基調からくる価格の低迷、生産調整の実施等の課題が山積み

しております。

しかし、本町は、農業を基盤としており、厳しいながらも地域農業の再編成を強力に推進し、自立できる農業の確立を図るよう努めます。

このためにも、基盤整備等を推進し、農村環境の整備等の条件整備を進めながら、地域ぐるみで利益を求める体制づくりを図り、農地の流動化により、中核農家を育成し、農業所得向上に努めます。

農業委員会では、農地法に基づいて、諸申請に関する審議のため毎月委員会を開催致します。

事業としては、担い手農家の育成確保を図るため、農用地の利用集積による経営規模拡大と遊休農地の解消に努め有効利用を促進致します。

水田農業確立対策事業については、後期対策三年目を迎えて、転作目標面積達成はもとより、休耕水田の有効利用を図ります。

園芸対策については水稲の補完作物として推進している「みかん」「イチゴ」等を中心として銘柄確立はもとより面積の拡大、品質の向上を図るため補助を行います。

また、イチゴについては、労働力の省力化と生産量増を図

るための連棟ハウス建設等に對して一部補助します。

畜産対策については、牛肉輸入自由化対策として、畜産農家の経営の安定と向上を図るため、増頭運動を展開してききましたが、さらに今年度から三ヶ年間、肉用牛経営規模拡大事業を実施し、繁殖雌牛百五十頭の導入を行います。

基盤整備事業が遅れている中山間地域については、三年度から中山間地域農村活性化総合整備事業で整備を進めておりますが、今年度は農道及び集落道等の条件整備を実施します。

基盤整備事業については、三年度に事業計画いたしました水田農業確立排水対策特別事業(大新田地区の湛水防除)及び農免農道(流合線)について、今年度から県営事業にて着手されます。

林業については、緑豊かな国づくりを推進するため、国土の保全と林業生産基盤の整備を基本に林業の振興を図ります。

その他、北松森林組合へ指導費の補助を行います。

また、間伐促進強化対策事業により、成育途上にある人工林の質的な整備を図ります。

水産業については、佐々川

内水面振興協議会に補助を行い、水産動物資源の保護培養に努めます。

### 住環境の整備へ

#### ー建設・消防ー

住民の要望である生活道、河川、公園整備等、緊急性の高い箇所を重点的に整備計画しています。補助事業として、交通安全施設等の整備、公営住宅の建設、正興寺橋線橋梁整備工事、小浦都市下水路整備事業等の継続事業実施のため、予算を計上しました。



浸水解消のため完成が待たれる小浦都市下水路整備事業ポンプ場



雨のたびに浸水が心配される小浦地区



道路、河川、公園の整備につきましては、起債事業及び単独事業で計画しています。

交通安全施設等整備事業については、学童通学の安全確保のため、平成二年度から着手して、町道神田線の歩道整備工事を補助事業として今年度も(延長百七十三m・幅員二m)を継続して計画しています。

住宅管理については、町営住宅四百二十戸、県営住宅百二十戸の維持管理を計上しております。特に本年度は、松瀬団地の外壁改修工事及び市瀬第二団地の駐車場を整備します。

公営住宅建設には、地域活性化に結びつく住宅供給を目的として平成元年度から継続して事業を進め、元年度に二十四戸、二年度に十八戸、三年度に十八戸建設、本年度事業として、一種六戸、二種六戸の建設と関連事業として歩道橋の建設を計画しています。

都市下水路事業については平成三年度に継続して本年度は、機械設備(ポンプ一基)の建設工事を実施して小浦都市下水路の整備を行い、小浦地区の浸水地域の解消を図るための予算を計上しています。

消防費については、常備消防費に広域消防事務負担金として八千九百七十五千円を計上し、非常備消防費では、消防設備の年次の整備を図るため、本年度は第六分団の消防自動車購入費を計上しております。

### 生涯学習の推進

・教育委員会費	1,174千円	・少年健全育成業	3,050千円
・事務局費	40,283千円	・公民館費	20,013千円
・小学校費	79,494千円	・文化会館費	11,050千円
・中学校費	50,552千円	・保健体育総務費	5,152千円
・中学校大規模改造事業	74,800千円	・体育施設費	7,533千円
・中学校給食調理室改築事業	48,830千円	・文化財費	468千円
・外国青年招致事業	4,971千円		
・幼稚園費	29,678千円		

### 一教 育一

複雑化しつつある社会に対応し、心豊かな人づくりと生活の向上発展を図ることは、これからの社会教育の重要な課題であり、こうした課題の解決にあたっては、時代に即応した生涯学習の推進と望ましい地域社会づくりに取り組む必要があります。

また、心のふれあいのある教育の一層の充実を目指して耐え・創り・考える教育は、学校・家庭・地域社会のそれぞれの場において、相互理解と信頼関係を深め、独自の教育機能の確立をめざす「学びあう社会づくり」の実践を基調に、自制心・忍耐力・責任感・協調性・創造力を備えた人間性豊かな児童生徒を育成しようとするものであります。

そのためには、生涯教育推進協議会をはじめ、各種委員会の機能を十分果たしながら相互の連携を密にして、指導体制の確立を図り、また児童生徒、教職員、保護者、地域住民が互いに心のふれあいを深め、信頼関係の樹立を図ることが肝要であり、これを基調として教育の秩序を確立し、明るい教育環境づくりに努めます。

### 健全な財政運営を

#### 一公債費一

平成二年度決算から公債費残高は三十四億七千万円で、平成三年度末見込み残高では三十九億六千万円となっております。

・道路維持	34,706千円
・道路新設改良(町道木場線他)	76,192千円
・交通安全施設等整備事業	70,000千円
・正興寺橋線橋梁整備事業	85,000千円
・桜つつみ整備工事	12,000千円
・佐々町公共下水道特別会計繰出金	23,237千円
・土地区画整備事業調査	14,100千円
・小浦都市下水路整備事業	604,000千円
・公営住宅建設(12戸分)	171,114千円
・広域消防負担金	89,175千円
・第6分団消防自動車購入	11,000千円



継続して整備が進められる町道神田線歩道

起債の目的	限度額(千円)	起債の目的	限度額(千円)
地域総合整備事業(佐々西部自然公園整備事業)	389,700	正興寺橋線橋梁整備事業	32,300
産炭地域開発就労事業(町道真申・美渡世越線道路改良事業)	5,100	小浦都市下水路整備事業	126,700
中山間地域農村活性化総合整備事業	33,300	公営住宅建設事業	51,500
商店街環境活性化事業	3,200	佐々川桜のつつみ整備事業	9,000
町道北松南高前線工事	14,200	消防施設整備事業	5,500
町道さざん花団地線舗装工事	10,200	中学校大規模改造事業	53,500
町道神田線舗装工事	30,700	中学校給食室改築事業	6,700
交通安全施設等整備事業	17,500	3年災農地災害復旧事業	200
水田農業確立排水対策特別事業	15,000	3年災農業用施設災害復旧事業	100
		土地区画整備事業調査	2,800



# 特別会計

## 国民健康保険

歳入

保険税、国庫支出金、退職者医療交付金等は前年度実績で計上。特別調整交付金はヘルスパイオニアタウン事業分として四百万円計上しています。

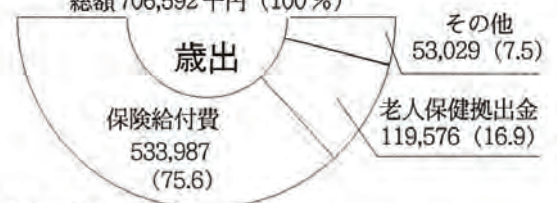
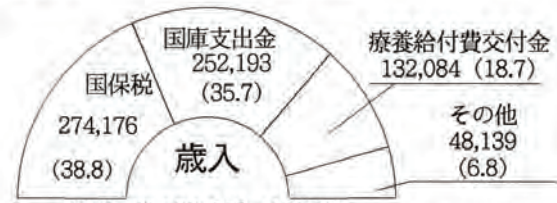
歳出

保険給付費は、医療費の過去三ヶ年の実績で計上。老人保健拠出金は前々年度の実績で一億千九百五十七万六千円を計上しています。

単位：千円（）内%

・その他の内訳

繰入金	39,600	使用料及び手数料	226
共同事業交付金	3,869	財産収入	3,000
諸収入	1,442	繰越金	2



・その他の内訳

総務費	24,695	共同事業拠出金	2,928
予備費	13,350	諸支出金	818
保健施設費	8,238	積立金	3,000

## 診療所

歳入

診療収入は、入院患者一日平均十一人（年間延四、一〇五人）、外来患者一日平均八十八人（年間二三、六八〇人）を見込み、一億三千四百七十七千円を計上しています。また、繰入金として、一般会計から地方交付税算入分四百万円、その他収入あわせて歳入合計一億五千六百一十一千円を計上しています。

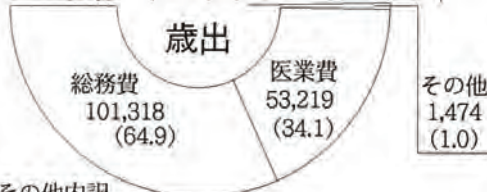
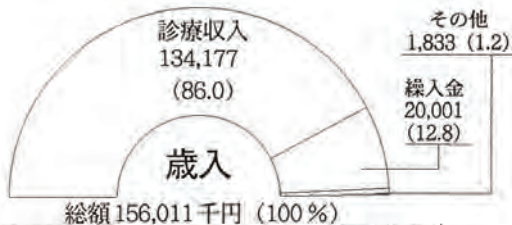
歳出

職員九名分の人件費と臨時、パート雇用経費、一般経費など一億百三十二万千円を総務費に計上。医薬費として薬品材料費、給食費、医療機器費など五千三百二十一万九千円を計上。その他公債費、予備費などを含め歳出合計一億五千六百一十一千円となっています。

単位：千円（）内は%

・その他の内訳

諸収入	1,169	財産収入	1
使用料及び手数料	661	繰越金	1
基金繰入金	1		



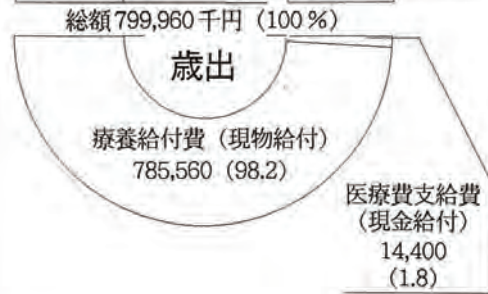
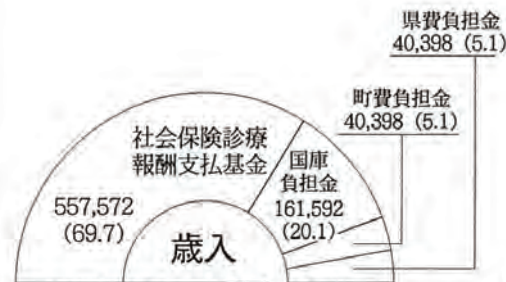
・その他の内訳

予備費	1,045
公債費	428
基金積立金	1

## 老人保健

昭和五十八年二月、老人保健法が始まってから数回の制度改正があり、本年度は、対象者の増加、自然増を見て八〇%の伸びを予定して計上。医療費内訳は次のとおりです。

単位：千円（）内は%



## 佐々町

### 工場団地造成事業

元県立療養所跡地に企業誘致を行うため、佐々工場団地造成事業を進めており、今年度で工事関係は終了予定ですが、前年度と同じく地域開発事業債（内陸工業用地等造成事業）の適用を受け、関連水路工、フェンス工、法面保護工等の附帯工事費及び起債の償還経費並びに事務費として六千六百九十二万円の予算計上を致しております。



# 水道事業

水道事業では、衛生的かつ安全な水づくりに鋭意努力しております。

給水については、高部の大部分は解消されましたが、なお一部の未給水地区については、地域の特殊性及び財政事情等を検討すると共に、宅地開発等による給水の増加に対応すべく、長期的な安定供給

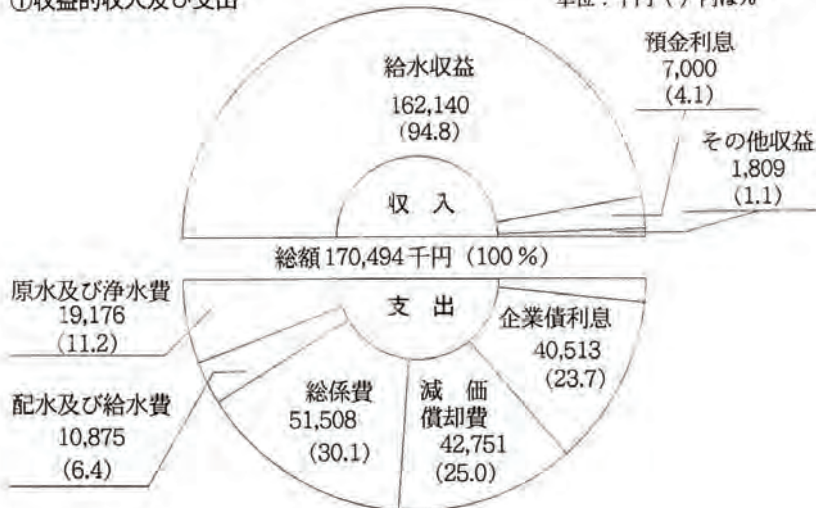
と水質保全に努めます。

更に建設改良事業として、老朽排水管改良工事及び漏水調査等を実施し、有収率の向上を図る計画であります。

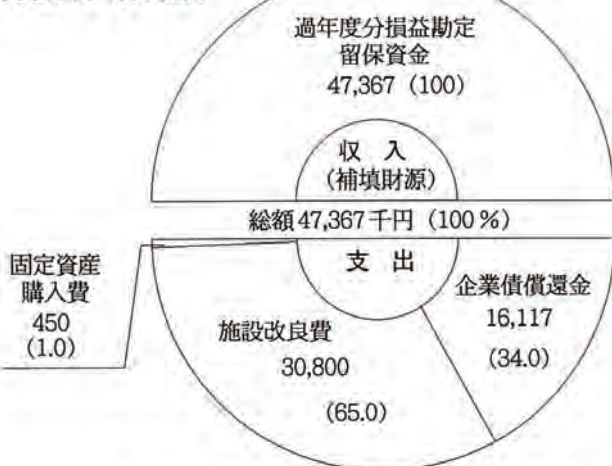
業務の予定量は、年間配水件数五万件(月平均四千二百五十件)普及率九十八%、年間配水量百二十六万六千m<sup>3</sup>、一日平均給水量三千四百六十m<sup>3</sup>、有収水量百五万m<sup>3</sup>、有収率八十三%を見込み、給水を行なう予定であります。

## ①収益的収入及び支出

単位：千円( )内は%



## ②資本的収入及び支出

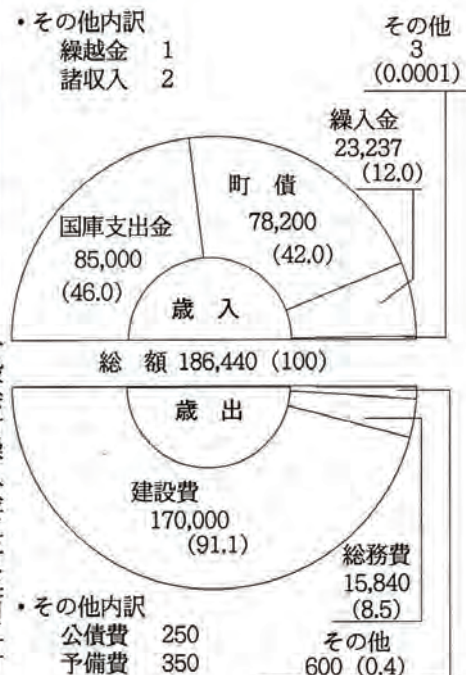


「ここできれいな水道の水が出来ます」  
担当職員の説明を熱心に聞く児童  
=佐々小学校4年生の浄水場見学=

## 公共下水道事業

### 下水道事業会計

単位：千円( )内は%



永年の懸案事項であった下水道事業を、生活環境の改善、農業用水路の水質改善、公共用水域の水質保全を目的として平成三年度から着手し事業を進めています。

本年度の事業内容としては、建設工事で幹線管渠の工事を小浦地区の県道佐世保鹿町線に布設し、また委託業務として終末処理場の基本設計、幹線管渠の実施設計及び、地質調査、下水道台帳作成のため航空写真測量等を計画し、その他中継ポンプ場の用地代を予算計上しております。

歳入  
国庫補助金八千五百万円、

一般会計繰入金二千三百二十三万七千円、その他町債、繰越金、諸収入等を含み、一億八千六百四十四万円を計上しております。

歳出  
総務管理費として人件費等建設費として工事費、調査設計に係る委託料他予備費等を合わせ、歳出合計一億八千六百四十四万円を計上しております。

### 佐々町土地取得特別会計

南部運動公園用地としての旧干拓地内の民有地の買収を行っていますが、平成三年度に引き続き、公共用地先行取得債の適用により、継続交渉分の経費三千二十七万円を計上致しております。



# 佐々町組織・職員名一覧表

◎印は係長・主任 ○印は主査 (兼)は兼務 (嘱)は嘱託 (委)は委託

平成4年4月1日付

